



# 66/77 kV CT 付壁貫通ダイレクトモールドブッシング

## Direct Molded Wall Penetration Bushing with Current Transformer for 66/77 kV

### 1. 概要

架空送電線から屋内変電所等の建屋内に直接送電線を引き込む場合、気中-気中タイプの壁貫通ブッシングを適用する場合があります。

現行の壁貫通ブッシングは磁器がい管を用いているため重く、内部は絶縁油が充填されているため、設置形態の制限や工事の煩雑さがあります。弊社では、2005年にエポキシとう管にシリコンゴムを直接モールドした完全乾式タイプの66/77 kV 壁貫通ダイレクトモールドブッシング(以下、壁貫通 DMBg) を実用化しました。

今回、66/77 kV 壁貫通 DMBg の製品ラインナップに、変流器 (CT) を実装したタイプを加えましたのでご紹介します。

### 2. 用途

本製品は下図に示すように、変電所において架空送電線から引き込む際に、建屋の壁や床との絶縁を保ち安全に受電するため使用されます。

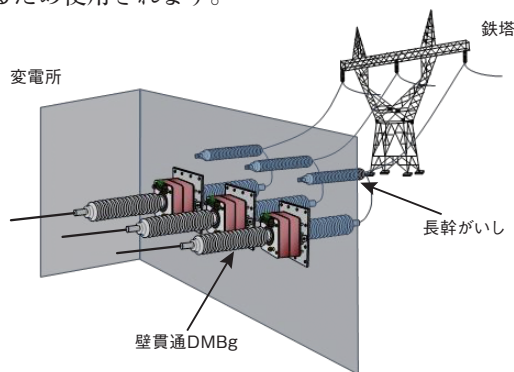


図1 使用例

### 3. 特長

壁貫通 DMBg は、現行の磁器がい管タイプのブッシングと比較して以下の特長を有しており、変流器 (CT) を実装することにより、電流の変化をモニタリングする機能を追加しました。

- (1) エポキシブッシングの表面にシリコンゴムを直接モールドした完全乾式固体絶縁構造です。
- (2) 耐汚損性能に優れ、軽量・コンパクトです。
- (3) 内部に絶縁油を使用していないため、取付向きに制限

が無く、施工設計の自由度があります。

- (4) 固体絶縁構造であるため、がい管内部で地絡した場合でも、絶縁油等の飛散がなく自己消火性を有しています。

### 4. 仕様

66/77 kV 壁貫通 DMBg は、ブッシングと CT に分けられ、CT は 2 段まで実装可能となっています。

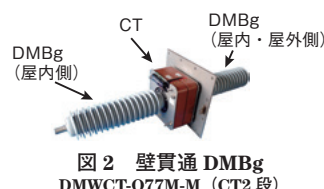


図2 壁貫通 DMBg DMWCT-O77M-M (CT2 段)

表1 ブッシング定格

項目	定格
定格電圧	80.5 kV
定格周波数	50/60 Hz
定格電流	1200/2000 A
定格短時間耐電流	31.5 kA・2 秒

表2 ブッシング種類 (6 種類)

【壁貫通】	型番	汚損区分 (mg/cm <sup>2</sup> )	
		屋内・屋外	屋内
	DMWCT-O77VH-VH	0.35	0.35
	DMWCT-O77VH-M		0.06
	DMWCT-O77M-VH	0.06	0.35
	DMWCT-O77M-M		0.06

【床貫通】	型番	汚損区分 (mg/cm <sup>2</sup> )	
		屋内 (下)	屋内 (上)
	DMWCT-I77VH-M	0.35	0.06
	DMWCT-I77VH-VH		0.35

表3 変流器 (CT) 種類 (組合せ 30 種類)

項目	定格				
定格周波数	60 Hz				
確度階級	1 PS				
過電流定数	n>20				
過電流	31.5 kA・2 秒				
定格一次電流	2000-1000 A	1200-800 A	1200-600 A	800-400 A	400-200 A
定格二次電流	5 A				
定格負担	100 VA	100 VA	100 VA (2 台直列接続)	100 VA (2 台直列接続)	—
	40 VA	40 VA	40 VA	40 VA	40 VA (2 台直列接続)

問合せ先：〒210-0024 神奈川県川崎市川崎区日進町1-14(キューブ川崎)  
 昭和電線ケーブルシステム(株)  
 電機・情報システム営業部 電機システム機器グループ  
 電話(044)223-0535 FAX(044)223-0558